

| | | |
|-----|----------------------------|-----|
| お〜い | 平成26年 | 148 |
| | 月刊 | 2月号 |
| 発行 | 「お〜い」編集委員会 | |
| | 品川区西大井 4-1-8 | |
| | 大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000 | |

ウィンターフェスティバルが開催されました！

12月15日(日)、ウィンターフェスティバルが荏原文化センターのホールで行われました。品川区小学校PTA連合会、中学校PTA連合会共同開催で品川区全域の小中学生が、様々な演技を披露してくれました。



私達の住む大井第三地区からもたくさん子ども達が出演しました。チャリディング、ヒップホップ、合唱、一輪車、中学ダンス部など、みな一生懸命の演技がとても感動的でした。

朝から夕方までと長時間ではありましたが、一人で出演している子、大人数で出演している子や、他の地域からも落語やバンドなど様々な演技があり、あっという間の一日でした。閉会式ではそれぞれの特徴をほめた表彰式があり、みなよかったね！と賞状をいただきました。

子ども達にこのような機会を作ってくれたことに感謝します。また来年も見に行こうと思いました。(中村 記)



第14回品川区中学生の主張大会

12月14日(土)、スクエア荏原ひらつかホールにて『第14回品川区中学生の主張大会』が行われました。

富士見台中学校からは9年生の川村さくらさんが出場しました。川村さんは7年生の時に代表として選ばれ第12回大会に出場し優秀賞を獲得した経験をもっています。

今回の演題は『伝えるべき言葉』。小学生の時に体験したことをもとに「人と人がわかりあうためには勇気をもって気持ちを伝えあうことが大切だ。」と心を込めて伝えてくれました。夏休みのうちに自主的に原稿を書き上げた川村さん。やる気満々のスタートだと感じましたが、本人の話をよく聞くと「つらい体験だったので今まで誰にも言えなかった。やっと伝えられるようになった。」との事だったようです。文字通り伝えるべき言葉が言葉となって3年の時を経て現れたのです。もちろん原稿は全て頭に入れて臨みました。15人の発表者の中で、トップバッターとなってしまう、かなり緊張したとのことでしたが、9年生らしく堂々とした立派な発表でした。

(富士見台中学校主任教諭 宮本由里子 記)



伊藤学園からは、9年生の小川奈々さんが出場しました。発表の演題は「平和への思い」。小川さんが学校生活や広島平和派遣を通して感じた「平和への思い」を力強く、そして気持ちを込めて語りました。発表では、まずいじめについて触れ、いじめが起きる原因と世界で対立や戦争が起こる原因は同じで、些細なことであると主張しました。そして「考え方の違いや容姿が違うということは人間のおもしろいところで、当たり前なことを忘れてしまうと大きなことに発展してしまう」「お互いを尊重し、協力し合うこと」を平和への条件に挙げ、立派に堂々と思いと述べました。

発表を終えた小川さんはほっとした表情で、安心した素敵な笑顔を見せてくれました。この大きな舞台を経験し、大きく成長した小川さんが、学校、そしてこれからの社会で彼女の思う「平和」を実現してくれることを期待します。

(伊藤学園生徒会担当教諭 岸卓朗 記)

